

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail kosaiji@hotmail.co.jp

春季彼岸会が勤まります 三月二十一日午後二時

やわらかな春の日差しがうれしい季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？当寺におきましても春季彼岸会が近づいて参りました。

日時は三月二十一日(日)午後二時からとなっております。お勤めの後、当寺若院の法話となります。皆様お誘い合わせの上お参り下さい。

さて、この彼岸会というものは「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますように、一年に二度勤められる



法要です。夏の暑さも和らぐ秋季彼岸会、冬の寒さも凌ぎやすくなる春季彼岸会というように、一年の内でも過ごしやすい春と秋に勤められる法要であります。

彼岸というのは、「彼岸」とつまり悟りの世界、お浄土のことです。

対するこの迷いの世界のことを此岸「此の岸」と申します。よってこのお彼岸の行事とは、こちら側の迷いの世界から、あちら



側の悟りの世界へと渡る(到る)ということに由来します。お彼岸のことを到彼岸といわれる所以です。

浄土真宗ではこのお彼岸の行事を、彼岸(お浄土)へ渡る道をお聞かされた縁であるといわれています。彼の岸(お浄土)へと渡る道、すなわち仏法、阿弥陀様のお話を聞かせていた

だくのがお彼岸なのです。世間では、お彼岸といえはお墓参りの日と考えがちですが、お彼岸の本当の意味からすると、お墓参りをすればよいという話ではなく、生きていることを再確認し、仏法を聞く大切な聞法の日なのです。阿弥陀様のお徳を讃え、み教えに遇う大切な縁が、この「お彼岸」なのです。

五位組

親鸞聖人 750回大遠忌 お待ち受け法要

日時 平成22年4月11日(日)

受け付け開始 午後12時

開会式 午後1時30分

会場 高岡市石堤 長光寺



送迎バス巡回します

いよいよ一ヶ月後と迫った五位組大遠忌お待ち受け法要ですが、どんどん準備の方も進んでおります。

広濟寺におきましては、この度の会場であります長光寺さんへの送迎バスの運行を決定いたしました。

送迎バスはマイクロバスで二台準備いたします。送迎場所は広濟寺(笹川)・小勢方面・立野方面・福岡方面を予定しております。送迎場所は、後日チラシ等にてお知らせいたします(該当地区のみ)。該当地区以外の方はお手数ですが広濟寺までお問い合わせいただくか、まもなく開設予定のブログ「広濟寺

当日のスケジュール

- 12:00 受付開始
 13:30 開会式
 13:40 お待ち受け法要
 宗祖讃仰作法(音楽法要)
 14:40 記念法話
 広島県 福岡 義朝 師
 16:10 チャリティーオークション
 16:30 閉会式

※ あくまで予定の為これより遅れる場合もありますのでご了承下さい。境内では、飲み物類、法輪せんべい、仏具等販売しております。

またチャリティーオークションにおいての収入は障害者共同作業所に寄付させていただきます。

送迎バスはもちろんです。広濟寺門徒に限らずどなた様もご利用下さい。尚、乗車人数の把握の為、利用される方はできれば広濟寺までご連絡下さい。また昼食の用意はございませんので、各自でご用意していただくか、事前に済ませて

かわら版」にアクセスください。送迎バスはもちろ

「広濟寺かわら版」
4月1日スタート

様々なお知らせを皆さんにいち早くお伝えします。アドレスは
<http://kosaiji.blog31.fc2.com/>

きて下さい。多くの方々のご参加をお待ち申しております！

仏事の疑問 Q & A

質問 西本願寺と東本願寺

の違いは何ですか？

うか？

まず西本願寺と東本願寺、当たり前かもしれませんがどちらも浄土真宗のお寺です。ですが宗派が違うのです。西本願寺は浄土真宗本願寺派(お西)、東本願寺は真宗大谷派(お東)です。本願寺派は本派、大谷派は大派と略称されることもあります。そして浄土真宗にはこの二大派の他にも多くの諸派があり、この二大派を含めたその中の十派で真宗教団連合を形成しています。年賀にお配りしております法語カレンダーはその真宗教団連合が発行しているのです。

ではこの二大派は具体的にどこが違ってくるのでしょうか？

み教えに関してはほとんど同じで多少相違はありますが、大部分ではあまり変わりありません。よってお西のお坊さんがお東のお寺で布教することもありますし、その逆ももちろんあります。

どちらかと言えば、形式的な違いが多いように思います。それは、この二派の成

立の歴史に由来することですが、この歴史の話はまた次の機会にて……。

さて、形式的な違いについてですが、宗派が違うように本山がもちろん違います。各々の本山である東西本願寺には様々な違いが見受けられます。

御堂内の荘厳(お飾り)を見比べるとそれらの違いがよくわかりおもしろいかもかもしれません。そして御

堂内では足元、畳を見てみてください。畳の敷き方で両本願寺では変えているのです。このことから両本願寺の歴史的関係がうかがい知ることができます。もちろん現在ではお互いに交流して

共にみ教えを広めるためがんばっています。前号で紹介した浄土真宗で最も大事な行事、報恩講でもお互いに参拝し合っています。

その報恩講ですが、お勤めする時期が西本願寺と東本願寺では違うのです。前号で紹介したように西本願寺の報恩講は一月九日から十六日まで。対して東本願寺は一月二十一日から二十八日まで。一月十六日は親鸞聖人の新曆の祥月命日ですが、十一月二十八日は旧曆での祥月命日に当たります。この十一月二十八日には現在ではお東独特の「坂東曲」での法要が勤まり多くの参拝者で賑わいます。秋に京都に行くことがあれば是非参拝してみてくださいいかがでしょうか。もちろんその時には西本願寺にもお参り下さいね(笑)



お知らせ

二〇一〇年

春季彼岸会

三月二十一日(日)

午後二時より

法話 当寺 若院

五位組 歴史講座

三月二十一日(日)

午後七時より

講師 樽谷 雅好 氏

(郷土史研究家)

講題 二上山と前田利長

場所 長光寺

五位組 親鸞聖人

七百五十回大遠忌

お待ち受け法要

四月十一日(日)

午後一時半より

場所 長光寺

歴史講座とは

五位組では、毎年三月に五位組歴史講座を開いております。今年の御講師は樽谷雅好先生、昨年に続いての御出講です。

昨年は富山県西部にわたって幅広いお話をいただきました。高岡市を流れる千保川、実は元々はとても大きな川だったそうですよ。最近国宝となった瑞龍寺も今では千保川からは随分離れているのですが、その氾濫によって敷地が削られたこともあったそうです。その千保川の往時の姿を偲ぶことができるのが、厚生連高岡病院前から高岡駅正面に向かう道。病院前から坂を下って千保川を渡りそして高岡駅前の手前でもう一度坂を上ります。この二つの坂の間、この一キロにも



得させられます。

歴史講座は楽しい興味深いお話でいっぱいです。門徒間わずどなたでも無料でご参加いただけます。是非日曜の夜は龍馬よりも郷土の歴史を。歴女の皆さんもお待ちしております(笑)。

蓮門会始まる

四月からテーマを新たに蓮門会がスタートします。テーマは「歎異抄を学ぶ」。対象は連研修了者です。一年全六回、会費五千円です。現在連研受講者は無料です。お問い合わせは広濟寺まで。

編集後記

今号は事情により発行が遅れ申し訳ありませんでした。もうお彼岸まで二週間とありませんが、外は雪が降ってきております。さすがに積もることはないでしょうが、春待ち遠しい今日この頃です。

さて今号ではお彼岸の本当の意味について紹介しました。実はこの彼岸会、真宗では古来より「讚仏会」と呼びならわしてきました。阿弥陀様のお徳を讃え、み教えを聞く、これこそがあらゆる法要を貫く本当の意味なのです。今では皆さんに親しみやすいようにと真宗でも「彼岸会」と呼んでいます。昔の人々はどのような思いでこのお彼岸をお迎えしていたのでしょうか。